

目標達成計画

作成日: 令和2年1月23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の思いや意向の記載はあるが、変化に応じた記録や記録先が分かりにくい状態である。	利用者の思いや意向、ADLの状態等の変化を、新人職員や第三者が見てもわかるように、時系列で記載していく。	入所時の聞きとりをした時に作成したフェイスシートに思い、意向、状態の変化を時系列でわかるように記載していく。ユニットの担当職員、リーダー、ケアマネと担当者会議の中で確認し、記載していく。	12ヶ月
2	49	年間行事での外出や外食は実施しているが、日常的な外出・散歩等の機会が少なくなっている。	戸外へ出ること、利用者のストレス発散や気分転換が図れ、体力増強維持を図り、五感への刺激につなげていく。	ユニット職員に戸外へ出る事の重要性を理解してもらおう、勉強会を行う。その中で、転倒リスクや利用者個々の状態に合わせた対応ができるよう、十分に検討していく。ケアプランにも反映させ、ユニットで業務の見直しを図り、短時間でも戸外に出る支援を実施する。	12ヶ月
3	35	災害対策の取り組みとして、地域との協力体制が未整備である。	地域の自主防災、組織との協力体制がつくれるようにしていく。	運営推進会議で事業所の災害対策に対する理解を求め、地域の民生委員に、自主防災役員との顔つなぎをしてもらう。地域の自主防災会に参加させてもらう。地域の方に事業所の特色等を伝え理解してもらう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月